

令和2年度 学校総合評価

6 今年度の重点課題に対する総合評価

本校では、「心豊かで調和のとれた教育」を目指した教育活動を推進する方策として、6つの重点項目と13項目の達成目標を掲げて取り組んだ。

「学習活動」：自主的学習習慣の定着を目指し、各学年で平日学習時間の達成目標を設定して年間2回の調査を行った。残念なことに全学年で達成できなかった。全体的に昨年度より低調であった。1年生の1学期における学習習慣の継続が必要で、2学年は進路目標を具体化させ意欲的な学習の取り組みが必要である。

普通科進学校として、生徒が主体的に授業に臨み、密度の濃い学習時間を確保するとともに、互見授業（そのフィードバックも含む）・校内研修・教科部会を通して授業方法の改善に一層努める必要がある。

「生徒指導」：昨年度から継続して「挨拶」と「服装」に重点を置いて指導した。アンケートの結果、今年度は目標を達成することができたので、今後も意識の低下にならないよう取り組みたい。スマートフォンについては、コロナ禍の影響でオンライン授業の推奨もあり、家庭でのスマホ利用に歯止めがかからなかったこともあり、達成目標を大きく下回ってしまった。

「進路支援」：1年間で、担任その他の先生と進路について相談した回数は、3年生は目標を達成したが、1・2年生は達成できなかった。達成できなかった理由として、コロナ禍による休校や大雪による休校で面接できる期間が短くなった影響が大きい。

「特別活動」：今年度も「学校行事の広報活動の回数」と「HR 役員、委員会活動に積極的に取り組んだ生徒の割合」とし、広報活動の充実を図ることで学校行事を活性化させ、生徒の自主的・積極的参加を期待した。「学校行事の広報活動の回数」は生徒が集まる機会が減った分、便りや掲示板への情報提供を増やし達成できたが、委員会活動についてはコロナ禍の影響で多くの人数が集まる活動が困難だったことから、従来の活動が出来なかったことが大きい。

図書館活動の充実に関しては、昨年度は「年間読書冊数3冊以上の生徒の割合70%以上」に対して79%と達成できたので、今年度は「80%以上」とその割合を引き上げたが、逆に69%と低くなった。図書館入館者数に関しては、1年生に図書館利用のオリエンテーションを行ったり、各学年・教科と連携し調べ学習の授業の場に図書館を提供するなどしたため、目標を達成することができた。今後とも読書意欲を高めるべく、様々な方策に取り組んでいきたい。

「その他（保護者・生徒・教職員・地域との連携、悩みを持つ生徒への支援）」：「PTA総会・呉校芸術祭・SPTA 懇談会に対する満足度」は5段階評価で評価した結果だが、コロナ禍の影響でPTA総会は書面総会、PTA講演会は中止、呉高芸術祭でのPTAの参加も中止となったので、満足度の評価は現状維持の「C」とした。Webホームページへの行事掲載率は77.8%で80%に少し届かなかった。「悩みを持つ生徒に対応するための研修会」の実施は目標を達成したが、参加率は72.3%ともっと増やせるように工夫したい。

7 次年度へ向けての課題と方策

創立から三十余年を経た本校は成熟期にあり、全職員と生徒が力を合わせて活力ある学校づくりを追求し、本校の特色を生かす教育を実践している。この1年間それぞれの課題について実践を進めてきたが、まだまだ検討の余地があるので、それぞれの結果を踏まえて来年度のアクションプランに反映させたいと考えている。

次年度も中・長期にわたる本校の将来ビジョンを踏まえ、生徒・保護者・地域との連携を目指しながら、音楽コースをもつ本校の特色を十分に生かして、生徒の活力ある学校生活を実現するために、教職員が一致団結して進めていきたいと考えている。

